

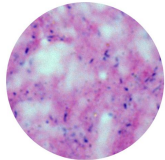
病理の話 第12回「病理診断について」

新たに当院では「病理診断科」がスタートしますが、まず病理診断とはなんですか？

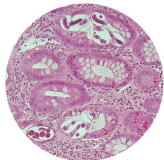
患者様が病院に来院されたら、適切に病気を治すために「どんな病気なのか、その病気がどんな状態なのか」という診断が必要になります。それを知るための一環として、患者様の体から採取した病変の組織や細胞の標本を顕微鏡で観察して診断することを病理診断といいます。病理診断は主治医に報告されて、病気の治療に大きな役割を果たします。主治医が病気の状態を詳しく把握することで、より良質な医療につなげることができ、的確に病気を治療することができます。

そして、この病理診断を専門とするのが、4月から新たに当院で働く病理医・堤寛先生です。堤先生は通常の病理医と同じように病理診断をして主治医に報告をしますが、それ以外にも「病理外来」をはじめとしているいろいろな方法で堤先生自ら診断の結果をわかりやすく患者様自身にお伝えし、患者様自身の病気のことについて納得して頂くという試みを行っています。

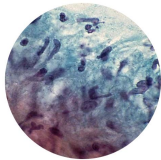
堤先生の病理外来は5月より金曜日の午後、完全予約制でスタートします。病理診断科のことや堤先生へ相談したいことなど、なにかございましたらお気軽に総合受付にてお尋ねください。



《ジフテリア》



《黄緑虫症》



《肺結核擦過細胞診》



はるひ呼吸器病院では、「病理診断科」がスタートします！



新任ドクター紹介 「患者さんに顔のみえる病理医」堤寛 医師

1976年慶應義塾大学医学部卒の病理医（病理専門医・細胞専門医）です。「患者さんに顔のみえる病理医」をめざし、病理診断のセカンドオピニオンを見直して受けてきました。「日本の常識、世界の非常識」を直す提言を続け、他の人のやらない「穴埋め病理医」、「社会派病理医」を演じてきました。図書コーナーにこれまでに執筆した一般書を置きました。ぜひご覧あれ。

2017年3月に16年間勤務した藤田保健衛生大学医学部を辞し、4月から本院でお世話になっています。5月より「病理外来」を開始しますし、長崎大学病院遠隔病理診断センターと協力して、バーチャル顕微鏡によって全国をつなぐ病理診断・若手病理医の教育に携わる予定です。さらに、名鉄本線「前後」駅前のURバルネス前後412号室に事務所「つつみ病理相談所」を開設。「患者さんに顔のみえる病理医」の実践の場にする予定です。趣味のオーボエ演奏を通じた交流も活用してゆくつもりです。



5月より堤先生の病理外来を始めます！

毎週金曜日午後(13:00-15:00) 完全予約制で行います。



詳しくはお問い合わせください。



今月の一品 アスパラとにんじんの肉巻き

＜材料＞	2本	しょうゆ	大さじ1
アスパラ	1/4	酒みりん	大さじ1
にんじん		はちみつ	大さじ1/4
本		砂糖	小さじ1/2
豚肉薄切り	100g	しょうが	小さじ1/2
		片栗粉	少々
		サラダ油	少々



- ＜作り方＞
- ①アスパラは2等分に切り、にんじんはアスパラの太さ・長さに合わせて棒状に切る。アスパラとにんじんは軽く下茹でする。
 - ②切ったアスパラとにんじんを豚肉で巻き、片栗粉をまぶす。
 - ③巻き終わりを下にしてフライパンで焼く。
 - ④★の調味料を入れて煮詰める。

＜豆知識＞
アスパラはアミノ酸であるアスパラギン酸が豊富に含まれます。アスパラギン酸は新陳代謝を高め、疲労回復や滋養強壮に効果があると言われていいます。また利尿作用もありむくみもすっきり。ビタミンC・Eも豊富で美肌効果も期待できます。アスパラは春先から初夏にかけてが旬の野菜です。肉巻き以外にも、ソテーや料理の彩りにいかがでしょうか。

呼吸ケア教室

4月20日(木)に呼吸ケア教室を開催しました。今回は慢性呼吸器疾患看護認定看護師の西村看護師が「酸素療法って何？酸素を吸いながら生活をするとどうなるか」をテーマに講演しました。HOT(在宅酸素療法)の効果や導入の流れ、HOTのある生活についての説明がありました。HOTとともに自分らしい生活を送ることについて理解して頂きました。



《呼吸ケア教室の様子》

次回日時
5月25日(木) 15:00~15:30
テーマ:
「呼吸器疾患における食の工夫」

講師: 藤川管理栄養士
栄養補助食品の試飲などもご用意させて頂く予定です。どなたでも参加可能です。参加希望の方は当日直接会場にお越しください。



Q&A どんな時に病理外来を受診すればいいですか？

病理外来では、病理専門医の堤医師が病理標本からわかる医療情報、とくに診断や治療方針をご説明します。最終診断である病理診断はあなたの病気の治療方針を決めることにつながります。顕微鏡モニターを利用して、あなたの病変の写真をわかりやすくお話しします。病理診断には、気管支鏡生検や手術切除材料を顕微鏡でみる「組織診」、たんや気管支洗浄液の細胞をみる「細胞診」、そして亡くなった方を解剖させていただく「病理解剖」の3種類があります。いずれでもご説明します。本院で診断されたご自分やご家族の標本のほか、他の医療施設で病理診断された標本をセカンドオピニオンすることも可能です。病理標本(顕微鏡用のガラス標本です)を病院からお借りください。遠慮なく申し出れば借りられます。外来は金曜日の午後、予約制で運用します。診断内容や治療方針に疑問があったり、もっと知りたいと思われたとき、遠慮なくお申し込みください。